

区数ごとに事務分担を設定したシミュレーション

副首都・大阪にふさわしい大都市制度協議会

事務局：副首都推進局

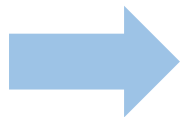
1 シミュレーションの位置付け

前回(第3回)協議会において、東京都と特別区(23区)をベースにした事務分担をもとにしたシミュレーションを示し、協議していただいたところ、会長から「区数ごとに事務分担を変えた場合のシミュレーションについても示してほしい」との指示があったため、今回のシミュレーションを行ったもの

■ 今回のシミュレーションは、以下の工程で行った

- ① シミュレーション用に、東京都と特別区(23区)の事務分担をベースに、前回の議論を踏まえ、区数ごとに設定した事務分担で、大阪市の事務事業を広域と基礎(特別区)に仕分け
- ② 大阪市の歳出決算(令和6年度)から、事務事業の仕分け案をもとに、広域と基礎(特別区)の歳出規模を算定
- ③ 職員数、庁舎規模、システム経費の算定
 - ・ 同等の人口規模の自治体をモデルに、区数パターンごとの職員数を算定
 - ・ 区数パターンごとの職員数をもとに現員数からの増員数を割り出し、議員数※を合わせ、必要な庁舎規模を算定
- ④ 職員数(人件費)と庁舎規模(賃借料)の増加分及びシステム経費を加え、4区、8区、24区の歳出総額を算定
- ⑤ 歳入については、本来、広域と基礎に財源を配分する財政調整制度を検討したうえで決定されるものであるが、現在、その内容が決まっていないため、便宜的に、大阪市の歳入決算(令和6年度)から、広域と基礎(特別区)に仕分けした歳出規模の割合に応じて、基礎(特別区)の歳入総額を算定。区数パターンごとの歳出総額と比較し、収支を算定

※ 議員数は、次回の統一地方選から適用される市会議員定数である70人を採用



今回のシミュレーションは、4区、8区、24区の傾向を示すものであり、数値については、相当の幅をもって見る必要がある

2 区数ごとに事務分担を設定した場合の収支算定（職員数）

【算定方法】

- 東京都ベースの事務分担から、第3回法定協議会の協議を踏まえ、区数ごとに事務分担を見直した職員数を算定。
- 職員数は、データの制約上、第3回法定協議会の職員数に、総務省定員管理調査の小部門単位で職員数を加算・控除して算出。
- 推計方法(推計A、推計B)は変更なし。

		4区	8区	24区
推計・現員数 に追加・除外 する部門 (※)	追加	児童相談所、その他の社会福祉施設	なし	なし
	除外	保健所、介護保険事業	保健所、火葬場・墓地、 介護保険事業	保健所、火葬場・墓地、 介護保険事業
対象自治体		変更なし	変更なし	推計Bについて、第3回法定協議会 の対象自治体から大東市を除外し、 富士見市を追加

※現員数は、第3回法定協議会の現員数(11,990)に、R8総務省定員管理調査における表中の大阪市の各部門の職員数を加算・控除

3-1 シミュレーション結果 4区の収支算定

職員数推計 A

	① 東京都ベース	② 事務分担変更後
モデルとなる人口10万人あたり職員数	433	447
総職員数	14,070	14,466
特別区設置に伴う職員数	170	486
	1.4%	4.0%

	①東京都ベース		②事務分担変更後	
	全体	1区当たり	全体	1区当たり
歳出 計 (A)	13,355	3,339	12,888	3,222
影響額 計 (B)	57.9	14.5	86.7	21.7
歳出[総額] A+B (C)	13,413 (+0.43%)	3,353 (+0.43%)	12,975 (+0.67%)	3,244 (+0.67%)
歳入 計 (D)	13,513	3,378	13,041	3,260
収支 D-C	100.1	25.0	66.2	16.6

イニシャルコスト [V+VI]	380.7	95.2	379.2	94.8
庁舎整備コスト [V]	68.7	17.2	67.2	16.8
システム整備コスト [VI]	312.0	78.0	312.0	78.0

職員数推計 B

	① 東京都ベース	② 事務分担変更後
モデルとなる人口10万人あたり職員数	456	464
総職員数	14,718	14,942
特別区設置に伴う職員数	818	962
	6.8%	8.0%

	①東京都ベース		②事務分担変更後	
	全体	1区当たり	全体	1区当たり
歳出 計 (A)	13,355	3,339	12,888	3,222
影響額 計 (B)	116.9	29.2	130.0	32.5
歳出[総額] A+B (C)	13,472 (+0.88%)	3,368 (+0.88%)	13,018 (+1.01%)	3,254 (+1.01%)
歳入 計 (D)	13,513	3,378	13,041	3,260
収支 D-C	41.1	10.3	22.9	5.7

イニシャルコスト [V+VI]	384.2	96.0	381.8	95.4
庁舎整備コスト [V]	72.2	18.0	69.8	17.4
システム整備コスト [VI]	312.0	78.0	312.0	78.0

3-2 シミュレーション結果 8区の収支算定

職員数推計 A

	① 東京都ベース	② 事務分担変更後
モデルとなる人口10万人あたり職員数	460	426
総職員数	14,830	13,878
特別区設置に伴う職員数	930	640
	7.8%	5.6%

	①東京都ベース		②事務分担変更後	
	全体	1区当たり	全体	1区当たり
歳出 計 (A)	13,355	1,669	12,626	1,578
影響額 計 (B)	127.1	15.9	100.7	12.6
歳出[総額] A+B (C)	13,482 (+0.95%)	1,685 (+0.95%)	12,727 (+0.80%)	1,591 (+0.80%)
歳入 計 (D)	13,513	1,689	12,776	1,597
収支 D-C	30.9	3.9	49.1	6.1

イニシャルコスト [V+VI]	384.8	48.1	379.3	47.4
庁舎整備コスト [V]	72.8	9.1	67.3	8.4
システム整備コスト [VI]	312.0	39.0	312.0	39.0

職員数推計 B

	① 東京都ベース	② 事務分担変更後
モデルとなる人口10万人あたり職員数	482	453
総職員数	15,446	14,630
特別区設置に伴う職員数	1,546	1,392
	12.9%	12.3%

	①東京都ベース		②事務分担変更後	
	全体	1区当たり	全体	1区当たり
歳出 計 (A)	13,355	1,669	12,626	1,578
影響額 計 (B)	190.6	23.8	169.2	21.1
歳出[総額] A+B (C)	13,546 (+1.43%)	1,693 (+1.43%)	12,795 (+1.34%)	1,599 (+1.34%)
歳入 計 (D)	13,513	1,689	12,776	1,597
収支 D-C	▲ 32.6	▲ 4.1	▲ 19.4	▲ 2.4

イニシャルコスト [V+VI]	405.0	50.6	383.3	47.9
庁舎整備コスト [V]	93.0	11.6	71.3	8.9
システム整備コスト [VI]	312.0	39.0	312.0	39.0

3-3 シミュレーション結果 24区の収支算定

職員数推計 A

	① 東京都ベース	② 事務分担変更後
モデルとなる人口10万人あたり職員数	567	495
総職員数	17,846	15,806
特別区設置に伴う職員数	3,946 32.9%	2,568 22.7%

	①東京都ベース		②事務分担変更後	
	全体	1区当たり	全体	1区当たり
歳出 計 (A)	13,355	556	12,626	526
影響額 計 (B)	441.1	18.4	290.8	12.1
歳出[総額] A+B (C)	13,796 (+3.30%)	575 (+3.30%)	12,917 (+2.30%)	538 (+2.30%)
歳入 計 (D)	13,513	563	12,776	532
収支 D-C	▲ 283.1	▲ 11.8	▲ 141.1	▲ 5.9

イニシャルコスト [V+VI]	490.3	20.4	422.7	17.6
庁舎整備コスト [V]	178.3	7.4	110.7	4.6
システム整備コスト [VI]	312.0	13.0	312.0	13.0

職員数推計 B

	① 東京都ベース	② 事務分担変更後
モデルとなる人口10万人あたり職員数	550	521
総職員数	17,366	16,550
特別区設置に伴う職員数	3,466 28.9%	3,312 29.2%

	①東京都ベース		②事務分担変更後	
	全体	1区当たり	全体	1区当たり
歳出 計 (A)	13,355	556	12,626	526
影響額 計 (B)	391.0	16.3	368.4	15.4
歳出[総額] A+B (C)	13,746 (+2.93%)	573 (+2.93%)	12,994 (+2.92%)	541 (+2.92%)
歳入 計 (D)	13,513	563	12,776	532
収支 D-C	▲ 233.0	▲ 9.7	▲ 218.7	▲ 9.1

イニシャルコスト [V+VI]	473.2	19.7	449.1	18.7
庁舎整備コスト [V]	161.2	6.7	137.1	5.7
システム整備コスト [VI]	312.0	13.0	312.0	13.0